



Professional Mixing Controller

# PMC-46MKII

取扱説明書

ベスタクス株式会社

〒154-0011 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

---

## ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-46mk IIをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



### 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



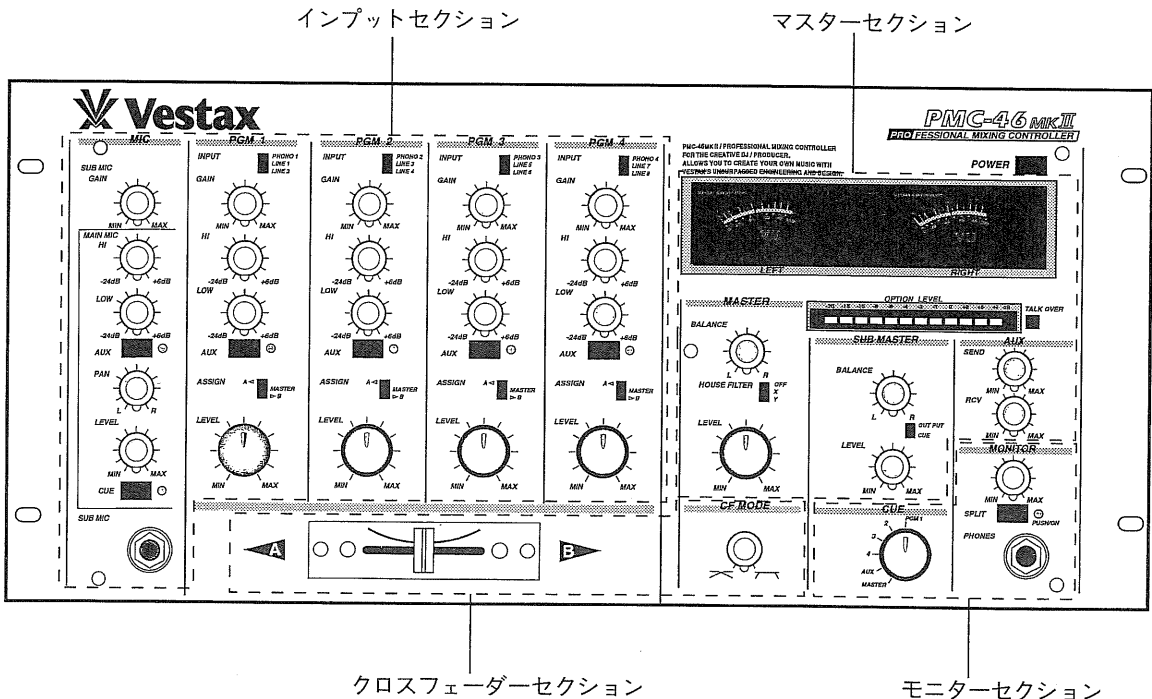
- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

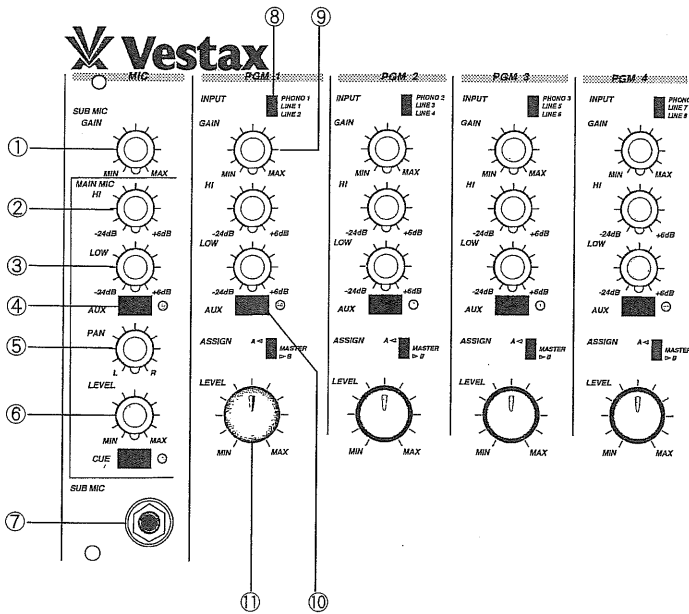
## VESTAX PMC-46mk II の特長

- フォノ4系統、ライン8系統(STEREO)、合計12系統ものインプットソースの中から任意の4系統を選べます。
- 各チャンネルに入力されたソースは、アサイン・スイッチにより、クロスフェーダー部のA又は、Bに送るか、又はクロスフェーダーを経由しないで、直接マスターフェーダーに送るかを選択でき、これにより、サンプラー、リズムマシン等をクロスフェーダーの動きに関係なく出力させたり、又は同時に4系統までのソースをミックスすることができます。  
また、アサイン・スイッチは、ロータリーボリュームの操作時に指が当たらないように奥に入っています。
- 各チャンネルにはゲインボリュームが装備されていますので、キュースイッチを用い、CD、レコード毎に異なる再生レベルをオプションレベルメーターへ表示させを、素早く容易に再生レベルを平均化できますので、スムーズなリミックスが可能です。又、同様に各チャンネルのHI, LOW, 2 BAND EQは、古いレコードと新しいレコードの間の音質のギャップを補正することが可能で、DJが操作しやすい様に適当な間隔で配置されています。
- 5つの入力モードのAUXスイッチは、狙ったフレーズを外すことなく、タイミング良く、インパクトのあるエフェクトテクニックを発揮できます。
- マイクは、メインマイク、サブマイクの2本が同時入力可能で、2 BAND EQ、PANコントロールにより、ラッパー、DJの声を自由にコントロールできます。
- クロスフェーダー部にVCAコントロールシステムを採用することにより、滑らかな動きと長寿命を実現しています。またミキシングカーブの調節も容易にでき、DJプレイスタイルに合わせて幅広くご使用になれます。
- 世界のトップDJの意見を基に作られた、新設計のオリジナルロータリーフェーダーは、新機構により実現した回転トルクとカーブ特性により微妙なロングミックスを可能にしました。
- モニター部は、ロータリースイッチタイプのプログラムモニターシステムを採用し、各チャンネルのモニターに加えて、AUXセンド、マスターのモニタリングが可能です。又、ヘッドフォン出力も周囲の音に影響されないように大パワーのアンプを搭載しました。
- 新設計のHOUSE FILTERシステムは、2種類のフィルターがプリセットされています。これによりディスコ、クラブ、ライブハウス等の空間に合わせた音作りを可能にします。
- 出力部は、PHONE JACK (アンバランス出力)、XLR CONNECTOR(バランス出力±0dB、+4dB切り替え可能)を装備、業務用SRシステムにもベストマッチします。
- サブマスター出力の採用で、2マスター出力として使用できる他、スイッチの切換えでブースモニター用の信号(ヘッドフォンモニターと同じ音)をラインレベルで出力することもできます。
- 業務用として最適なEIA 19inch 5Uラックマウント・サイズです。



## 各部の名称とはたらき

### インプットセクション



1. SUB MIC GAIN(サブマイク入力レベル調整ボリューム)  
フロントパネルにあるPHONE JACKに接続されたサブマイクの入力レベルを調整します。
2. HI(イコライザー・ハイ)  
高音補正用ボリュームです。20kHzにて+6dBブースト、-24dBカットできます。
3. LO(イコライザー・ロー)  
低音補正用ボリュームです。80Hzにて+6dBブースト、-24dBカットできます。
4. AUX  
スイッチONにて各PGMに入力された信号をAUX SEND端子に送ることができます。接続した外部エフェクター等にAUX SEND端子から信号を送るときに御使用下さい。
5. PAN(パン・ボリューム)  
リアパネルにあるXLRコネクターに接続されたメインマイクの定位を設定します。

6. MAIN MIC LEVEL(メインマイク入力レベル調整ボリューム)  
リアパネルにあるXLRコネクターに接続された、メインマイクの入力レベルを調整します。

7. SUB MIC IN(1/4 INCH PHONE JACK)  
DJ用サブマイク入力端子です。

8. INPUT SELECT(入力ソース選択スイッチ)  
各PGMへの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。プログラムは次のようになっています。

PGM-1.....PHONO 1, LINE 1 LINE 2  
PGM-2.....PHONO 2, LINE 3 LINE 4  
PGM-3.....PHONO 3, LINE 5 LINE 6  
PGM-4.....PHONO 4, LINE 7 LINE 8

PHONO入力には、RIAAイコライザーが入っています。LINE入力には、CDプレイヤー、TAPE DECKの出力を接続して下さい。

注意: PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときは、ヘッドアンプが必要となります。

9. GAIN(入力レベル調整ボリューム)  
各チャンネルの入力レベルを調整します。インプットフェーダーとマスターフェーダーを7~8の位置にセットしてVUレベルメーターの針が時々0dBを示すぐらいの位置にセットして下さい。

10. ASSIGN(クロスフェーダーアサインスイッチ)  
各チャンネルを通った入力信号をクロスフェーダー、又は、マスターセクションの何れかにアサインするスイッチです。

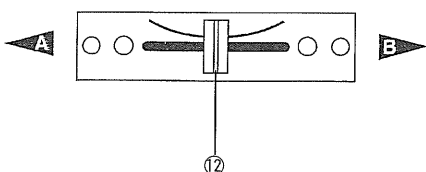
A.....クロスフェーダーのA側(左側)へアサインされます。

MASTER.....クロスフェーダーを経由せず直接マスターセクションへアサインされます。

B.....クロスフェーダーのB側(右側)へアサインされます。

11. LEVEL(チャンネルレベルロータリーヴォリューム)  
各チャンネルのインプットロータリーヴォリュームです。通常7~8の位置でお使い下さい。

### クロスフェーダーセクション



12. CROSS FADER(クロスフェーダー)

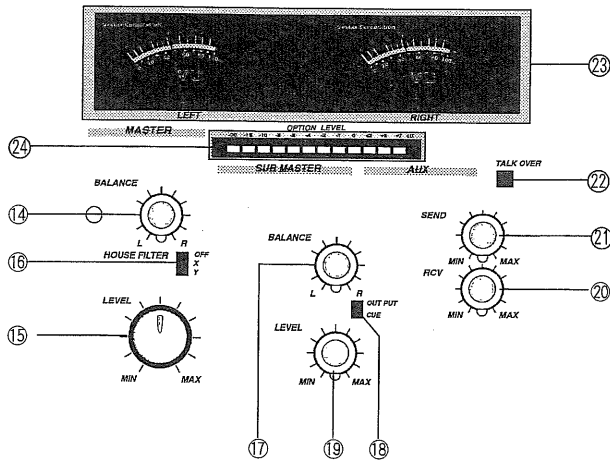
クロスフェーダー・マスター切換SWで選択したPGMの入力ソースをセンターでミックスします。クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになった時には、クロスフェーダーユニット(CF-4 6)を交換して下さい。ユニット両端の2本のネジと内部のコネクターで簡単に交換できます。

注意: クロスフェーダーユニットを交換する際には、取付方向をよくご確認下さい。

13. CF MODE(CFカーブ調整ヴォリューム)

クロスフェーダーのカーブ特性を調節する事が出来ます。右に回すほどなだらかな変化になり、ロングミックス等に適したカーブ特性になります。左に回すほど急激な変化になり、スクラッチやカットイン/アウト等に適したカーブ特性になります。

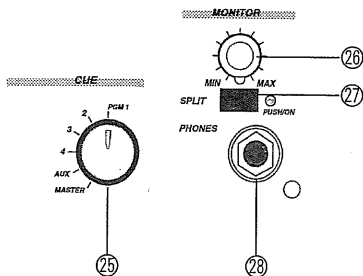
## マスターセクション



14. MASTER BALANCE(マスター出力バランスボリューム)  
リアパネルのLINE OUT、PA OUT端子から出力される信号のL、Rのバランスを調整します。
15. MASTER LEVEL(マスター出力レベル調整ボリューム)  
リアパネルのLINE OUT、PA OUT端子から出力される信号のレベルを調節します。
16. HOUSE FILTER(ハウスフィルター)  
Xタイプ、Yタイプの2種類のフィルターがセットされています。  
Xタイプ... 高音域の反響音等が多い場所で使用する際に適しています。  
Yタイプ... 低音域の響きが不足している場所で使用する際に適しています。

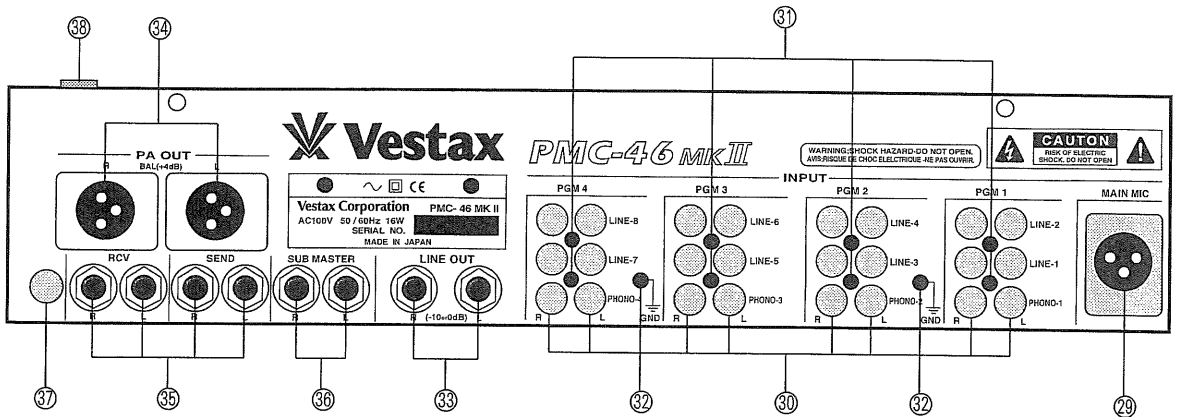
17. SUB MASTER BALANCE(サブマスター出力バランスボリューム)  
リアパネルのSUB MASTER OUT端子から出力される信号のL、Rのバランスを調節します。
18. SUB MASTER SWITCH(サブマスター出力セレクトスイッチ)  
SUB MASTERセクションへの入力ソースを選択するSWです。OUTPUTの状態ではMASTER OUTと同じソースが、CUEの状態では、CUEセクターSWで選択されたソースが、アサインされます。
19. SUB MASTER LEVEL(サブマスター出力レベル調整ボリューム)  
リアパネルのSUB MASTER OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。
20. AUX RTN(AUX入力レベル調整ボリューム)  
リアパネルのAUX RTN端子と接続した外部エフェクターから入力する信号のレベルを調整します。
21. AUX SEND(AUX出力レベル調整ボリューム)  
リアパネルのAUX SEND端子と接続した外部エフェクターに送る信号のレベルを調整します。クロスフェーダー使用時はクロスフェーダーの後から信号を取り出しマスターフェーダーの前に戻していますので、クロスフェーダーを使ったカットアウトにエコーをかける等、様々なテクニックが使えます。
22. TALK OVER SWITCH(トークオーバースイッチ)  
このスイッチを押すことにより、メイン、サブマイク以外の全てのソースのレベルがミュートされ減少します。
23. MASTER VU METER(マスター出力VUレベルメーター)  
VUメータにより、L、Rの出力を表示します。
24. OPTION LEVEL  
CUEセレクトロータリースイッチで選択したPGMの入力レベル、AUX RTNのレベル、MASTER OUTのレベルをLEDバーグラフにより出力ピークを表示します。

## モニターセクション



25. CUE(キューセレクトスイッチ)  
PGM 1~4の入力レベル、エフェクトレシーブルレベル、マスターアウトレベルのキュー・モニター選択ロータリースイッチです。
26. HEADPHONE LEVEL(ヘッドフォン・ボリューム)  
ヘッドフォンのモニターレベルの調整ボリュームです。
27. SPLIT(スプリットキュースイッチ)  
このスイッチをOFFにすると、CUEセレクトスイッチで選択した各信号をヘッドホンの両耳で聴くことができ、ONにするとヘッドホンのLcHでCUEセレクトスイッチで選択した信号をモニターでき、RcHでは常にMASTER OUTの信号をモニターすることができます。
28. PHONES(ヘッドフォン端子)  
このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。8~600ohmまで使用可能で、適正は150ohmです。

リアパネルセクション



- 29. MAIN MIC(XLR FEMALE 2 PIN HOT)  
メインマイクの入力端子です。
- 30. PHONO INPUT L/R(PHONO1,2,3,4) RCA PIN JACK  
各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。
- 31. LINE INPUT L/R(LINE1~8) RCA PIN JACK  
各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、MDプレイヤー、テープデッキ、DAT、VTR音声出力等を接続して下さい。
- 32. GND(グラウンドターミナル)  
各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。
- 33. LINE OUT L/R(1/4" INCH PHONE JACK)  
マスター出力のアンバランス出力です。パワーアンプの入口に接続して下さい。
- 34. PA OUT L/R(XLR MALE 2 PIN HOT)  
マスター出力のバランス出力です。パワーアンプの入口に接続して下さい。
- 35. EFFECT SEND RTN(1/4" PHONE JACK)  
外部エフェクター(ディレイ、リバブ)等の入力とSENDを、出力とRTNを接続して下さい。ステレオイン/ステレオアウトだけでなく、モノイン/ステレオアウト、モノイン/モノアウトのエフェクターにも接続が可能です。モノラルでご使用の場合は、L端子をお使い下さい。
- 36. SUB MASTER OUT L/R(1/4" PHONE JACK)  
SUB MASTER SWITCHがOUT PUT側のときマスター出力と同じ信号が出力されます。DJブース内でのモニターやエントランス等のマスター出力とは別系統のパワーアンプの入口に接続して下さい。L、Rどちらか片方のJACKのみ使用した場合、自動的にモノラル出力となります。  
SUB MASTER SWITCHがCUE側のときはCUEセレクトSWで選択した信号が出力されます。ヘッドホンでモニターしている信号を外部へ出力したいときや、サンプラーを接続してサンプリングしたいとき等に使用します
- 37. ACケーブル  
電源を供給するケーブルです。電源コンセントに接続して下さい。
- 38. POWER(パワースイッチ)  
電源のON/OFFスイッチです。ONのときVUメーターのランプが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプ等のヴォリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。

仕 様

		定格入力レベル	最大入力レベル	入力インピーダンス
入 力 系	MAIN MIC (XLR female 2 pin hot, BALANCE IN)	-50dBv	-20dBv	3 kΩ
	SUB MIC (1/4 inch PHONE JACK)	-50dBv	-20dBv	3 kΩ
	PHONO 1~4 L/R (RCA PIN JACK)	-46dBv	-18dBv (1kHz)	5 0 kΩ
	LINE 1~8 L/R (RCA PIN JACK)	-10dBv	+10dBv	1 5 kΩ
	AUX RTN L/R (1/4 inch PHONE JACK)	-10dBv	+10dBv	2 3 kΩ
出 力 系		定格出力	最大出力	最適負荷インピーダンス /出力インピーダンス
	PA OUT L/R (XLR male 2 pin, BALANCE OUT)	+4dBv	+25dBv	600.Ω以上/440Ω
	LINE L/R (1/4 inch PHONE JACK, UNBALANCE OUT)	0dBv、-10dBv	+20dBv、+10dBv	600Ω以上/220Ω
	SUB MASTER L/R (1/4 inch PHONE JACK)	-10dBv	+20dBv	10kΩ以上/220Ω
	AUX SEND L/R (1/4 inch PHONE JACK)	-10dBv	+15dBv	10kΩ以上/2.5kΩ(ステレオ)、1.2k(モノ)Ω
	HEADPHONE 出力 ((1/4 inch PHONE JACK)		1 9 0 mW	8 Ω以上/4 7 Ω
周波数特性	MIC (BALANCE +4dB)	30Hz~20kHz ±3d	クロスフェーダー間クロストーク	100dB以上
	LINE	20Hz~20kHz ±1dB	チャンネル間クロストーク	65dB以上
S/N 比	MIC (BALANCE +4dB)	60dB以上(聴感補正なし)	電源	AC100V 50/60Hz 16W
	LINE	76dB以上(聴感補正なし)	外形寸法 W×H×D	482×91×220mm
フェーダーアッテネーション	90dB以上	重量		5 kg

ブロックダイヤグラム

PMC46mkII BLOCK DIAGRAM

